

結婚・少子化についてのアンケート調査結果

(北海道ユースプランナー制度プロジェクトチーム)

1 概要

北海道ユースプランナーに「結婚・少子化」についてアンケートを行い、若い世代の意識を調査するとともに、道の施策に係るアイデアを募集した。

2 対象

北海道ユースプランナー(登録者 75 名)

3 実施期間

令和 4 年 (2022 年) 9 月 12 日～9 月 30 日

4 実施方法

北海道電子自治体共同システムの簡易申請機能を活用し、ユースプランナーが同システムのアンケートフォームから回答した。

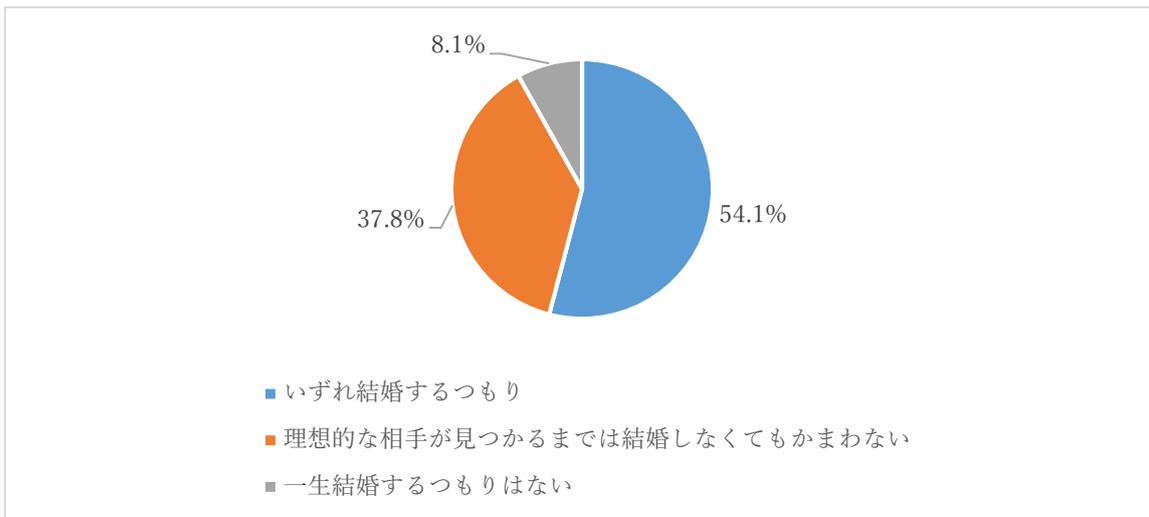
5 回答率

登録者(周知数)75 名 回答者 37 名 回答率 49.3%

問1 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか

・「いずれ結婚するつもり」と回答した人が約半数でした。

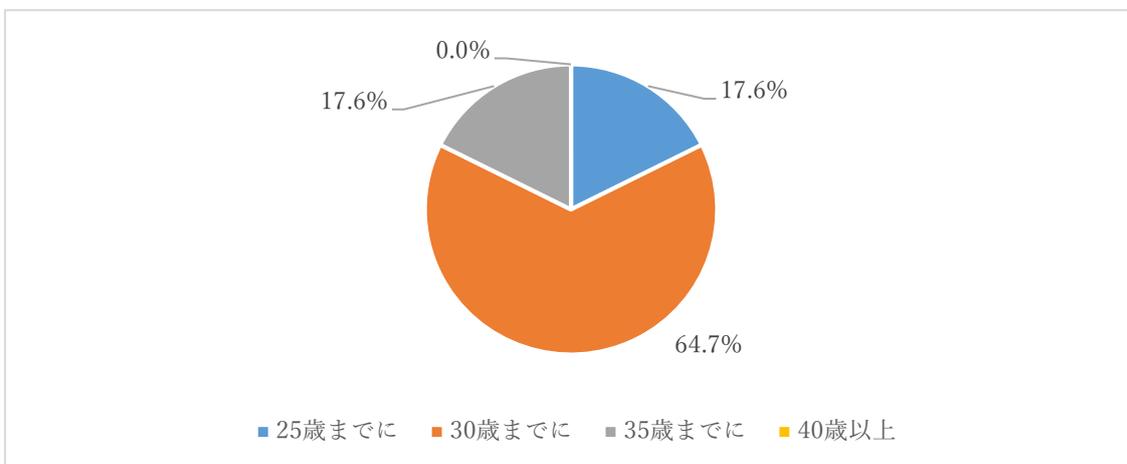
- | | |
|--------------------------------|-------------|
| (1) いずれ結婚するつもり | 20人 (54.1%) |
| (2) 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない | 14人 (37.8%) |
| (3) 一生結婚するつもりはない | 3人 (8.1%) |



問2 (1で(1)と回答した方へ) 何歳くらいの時に結婚したいですか (複数回答)

・「30歳までに」の回答が最多で64.7%でした。

- | | |
|------------|-------------|
| (1) 25歳までに | 6人 (17.6%) |
| (2) 30歳までに | 22人 (64.7%) |
| (3) 35歳までに | 6人 (17.6%) |
| (4) 40歳以上 | 0人 (0%) |



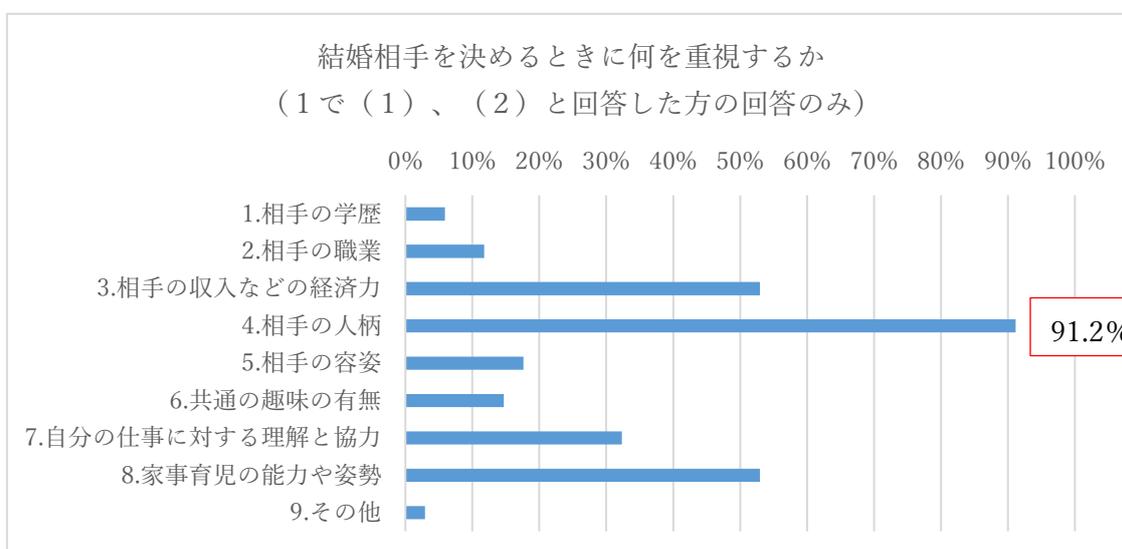
問3 (1で(1)、(2)と回答した方へ) 結婚相手を決めるときに何を重視しますか(複数回答)

・「相手の人柄」と回答した人が、91.2%と最多ですが、「相手の収入などの経済力」及び「家事育児の能力や姿勢」の回答も過半数を超えています。

(1) 相手の学歴	2人 (5.9%)
(2) 相手の職業	4人 (11.8%)
(3) 相手の収入などの経済力	18人 (52.9%)
(4) 相手の人柄	31人 (91.2%)
(5) 相手の容姿	6人 (17.6%)
(6) 共通の趣味の有無	5人 (14.7%)
(7) 自分の仕事に対する理解と協力	11人 (32.4%)
(8) 家事育児の能力や姿勢	18人 (52.9%)
(9) その他(自由記載)	1人 (2.9%)

※その他の回答

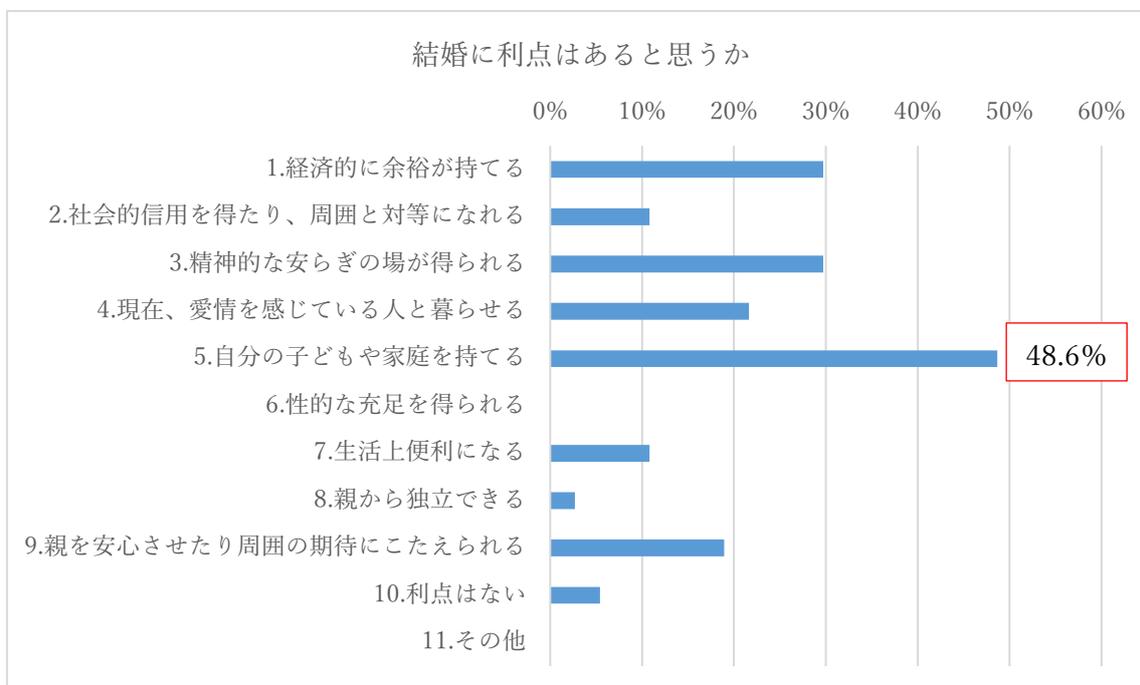
政治への姿勢、宗教観



問4 あなたにとって、結婚に利点はあると思いますか（複数回答）

・最も多かった「自分の子どもや家庭を持てる」が48.6%、次いで「経済的に余裕が持てる」及び「精神的な安らぎの場が得られる」が29.7%でした。様々な意見がりましたが、経済的・精神的に利点となると感じるという意見が多くありました。

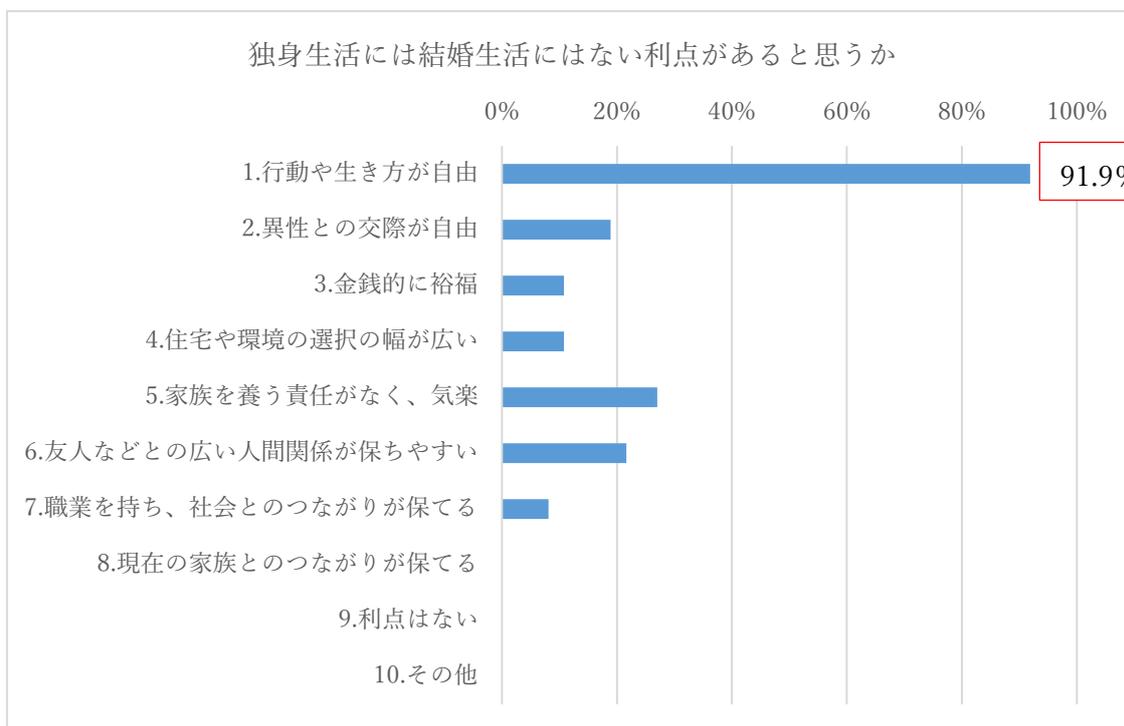
(1) 経済的に余裕が持てる	11人 (29.7%)
(2) 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる	4人 (10.8%)
(3) 精神的な安らぎの場が得られる	11人 (29.7%)
(4) 現在、愛情を感じている人と暮らせる	8人 (21.6%)
(5) 自分の子どもや家庭を持てる	18人 (48.6%)
(6) 性的な充足を得られる	0人 (0%)
(7) 生活上便利になる	4人 (10.8%)
(8) 親から独立できる	1人 (2.7%)
(9) 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる	7人 (18.9%)
(10) 利点はない	2人 (5.4%)
(11) その他（自由記載）	0人 (0%)



問5 あなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか（複数回答）

・「行動や生き方が自由」と回答した割合が最も多く 91.9%でした。結婚によって、自由が失われると考える人が多いと伺えます。

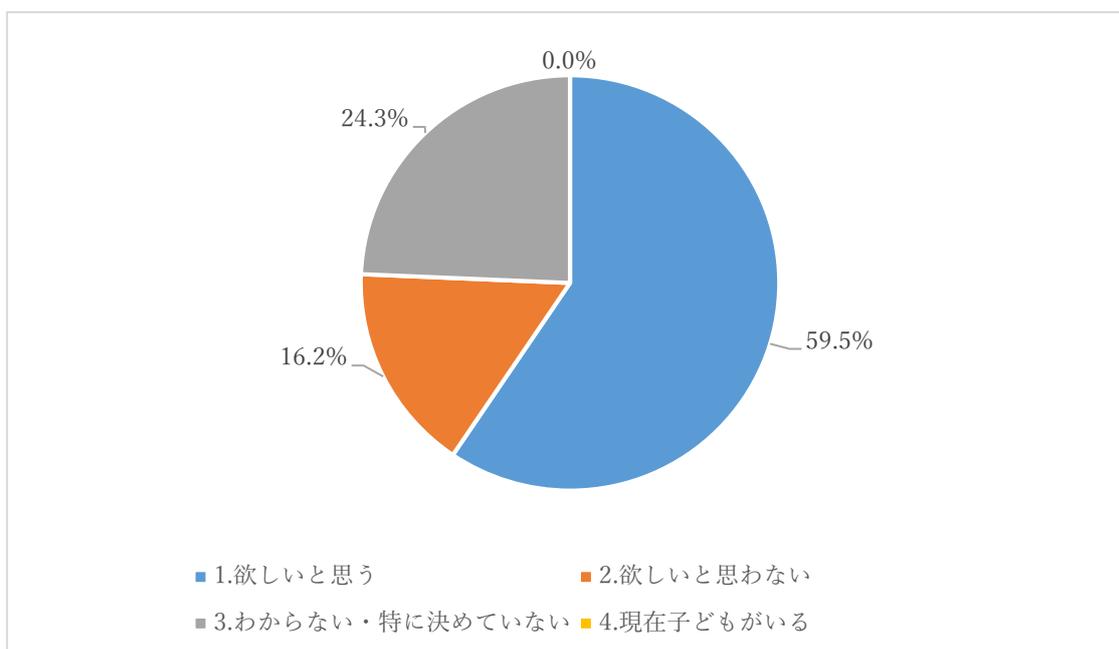
(1) 行動や生き方が自由	34人 (91.9%)
(2) 異性との交際が自由	7人 (18.9%)
(3) 金銭的に裕福	4人 (10.8%)
(4) 住宅や環境の選択の幅が広い	4人 (10.8%)
(5) 家族を養う責任がなく、気楽	10人 (27.0%)
(6) 友人などとの広い人間関係が保ちやすい	8人 (21.6%)
(7) 職業を持ち、社会とのつながりが保てる	3人 (8.1%)
(8) 現在の家族とのつながりが保てる	0人 (0%)
(9) 利点はない	0人 (0%)
(10) その他（自由記載）	0人 (0%)



問6 結婚をする・しないに関わらず、あなたは子どもを欲しいと思いますか

・半数以上の方が「子どもをほしいと思う」と回答しています。

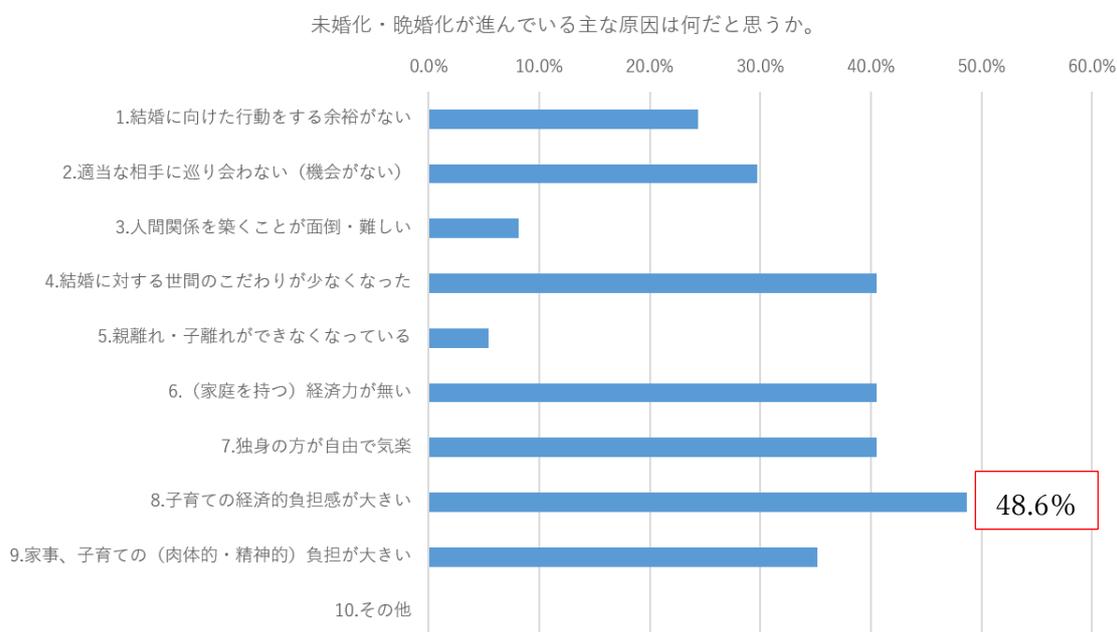
(1) 欲しいと思う	22人 (59.5%)
(2) 欲しいと思わない	6人 (16.2%)
(3) わからない・特に決めていない	9人 (24.3%)
(4) 現在子どもがいる	0人 (0%)



問7 未婚化・晩婚化が進んでいる主な原因は何だと思えますか。3つまで選択してください。

・「子育ての経済的負担感が大きい」が最多で48.6%、次いで「(家庭をもつ) 経済力がない」、「独身の方が自由で気楽」及び「結婚に対する世間のこだわりが少なくなった」が40.5%と、経済的な問題を指摘する意見や家庭を持つことにかかる精神的負担、世間の価値観の変化を指摘する意見が多くありました。

(1) 結婚に向けた行動をする余裕がない	9人 (24.3%)
(2) 適当な相手に巡り会わない(機会がない)	11人 (29.7%)
(3) 人間関係を築くことが面倒・難しい	3人 (8.1%)
(4) 結婚に対する世間のこだわりが少なくなった	15人 (40.5%)
(5) 親離れ・子離れができなくなっている	2人 (5.4%)
(6) (家庭をもつ) 経済力がない	15人 (40.5%)
(7) 独身の方が自由で気楽	15人 (40.5%)
(8) 子育ての経済的負担感が大きい	18人 (48.6%)
(9) 家事、子育ての(肉体的・精神的)負担が大きい	13人 (35.1%)
(10) その他(自由記載)	0人 (0%)



問8 北海道では、平成16年に全国に先駆けて少子化対策条例を作り、少子化対策に取り組んできましたが、昨年の合計特殊出生率（一人の女性が一生の間に生む子の数に相当）が、1.20と全国で下から3番目に低い現状です。

少子化対策を充実させていくために必要だと思うことや取組方法、要望等がありましたら、ぜひご記載ください。

※自由記載のため、別紙「概要版」及び「全体版」参照